

＼あの作品のロケ地へGO!／

美ら島ロケ地めぐり



数多くの映画やドラマ作品でロケ地になっている沖縄。
ロケ地となった市町村の魅力を再発見しよう!!

Spot



沖縄市戦後文化資料展示館
ヒストリート

沖縄市の戦後をテーマにした資料館。町の歩みが一目で分かる展示物が魅力です。

Shop



沖縄市観光物産振興協会

市の観光情報の発信や、物産、工芸品等の購入が可能。エイサー会館も隣接しています。

View



コザゲート通り

胡屋十字路口から嘉手納空軍基地の第2ゲートへ続く通りで、「空港通り」とも呼ばれています。横文字看板を掲げるテラーや飲食店が立ち並び、異国情緒溢れる景観が魅力です。

今回のロケ地作品



©2022 Office Crescendo

ミラクルシティコザ
(2022年)

主人公翔太の前に現れた死んだはずの祖父ハル。ベトナム戦争時代の伝説のロックンローラーハルが翔太の体を借りて1970年へタイムスリップ!沖縄市を舞台に、70年代と現代が交錯するタイムスリップ・ロックンロール・エンターテインメント。

協力:OCVB
沖縄フィルムオフィス

☆ 沖縄市のお土産



OKステーキソースは、「沖縄生まれのコザ育ち!」をキャッチフレーズに県産の黒糖やシークァーサーを使った万能ソース。ステーキはもちろん、揚げ物や炒めものなどアレンジ一つで様々な料理に相性抜群。

2021年には、一万人規模を収容できる県内初の全天候型多目的施設「沖縄アリーナ」が誕生し、県内の新しいランドマークとして認知されています。

「エイサーのまち」が受け継がれています。特にオキナワンロックや民謡は全国的な人気を博し、「音楽のまち」として沖縄のミュージックシーンを牽引し続けています。また古くからエイサーが盛んな地域でもあり、2007年に「エイサーのまち」を宣言。県内最大級のエイサーイベント「沖縄全島エイサーまつり」が毎年開催されています。このような異国と沖縄の文化が混じり合うことで、沖縄市独特の「チャンプルー文化」が受け継がれています。

本島中部に位置する沖縄市は、1974年にコザ市と美里村が合併し、誕生した那覇市に次いで人口の多いまちです。戦後は米軍基地の門前町として賑わい、多くのエンターテインメントが隆盛し今でも市の中心地は「コザ」の愛称で親しまれています。

多様な文化が集まる
チャンプルー文化のまち

広告



ワクチン接種にご協力を!



ワクチンについて
知ろう!